



三小だより



令和4年4月8日(金)

令和4年度

三ヶ所小学校通信

No.1

文責：藤川貴司

新しい春、新しい年のスタートです！

令和4年度がスタートしました。

三小の敷地内にある数多くの枝垂れ桜や校長室から見える花壇やプランターのパンジーやビオラ、サイネリアなど、新たなスタートと新しく転入してきた職員や子どもたちを歓迎するように、色鮮やかに咲きそろいました。そして、来週12日(火)に入学してくる11名の子どもたちを待ちわびているかのようです。

本年度、児童数の減少により、3・4年、5・6年が複式学級となり、新たな形でのスタートとなりました。(※指導体制等については、昨日配付の「令和4年度の実五ヶ瀬町内及び本校の指導体制について」の文書をご覧ください。) また、新型コロナウイルスも、全国、県内でも、再び増加傾向が見られ、予断を許されぬ状況となっています。そのような状況下で、不安な部分もありますが、いかにして子どもたちの学びを守っていくか、いかにして家庭・地域とのつながりをもっていくか、ということを考えながら、教育活動を進めていきたいと思っています。五ヶ瀬町の教育の基本理念である、「地域があって 子どもがいて 学校がある」をコロナ禍でどう実践していくかということが、本年度の大きな課題であり達成すべき目標であると考えています。保護者のみなさまを始め、地域のみなさまには、様々な点からご理解ご協力を頂きたいと考えていますので、本年度もどうぞよろしくお願いたします。



進級、おめでとうございます！

新年度のスタートと共に、学年が上がって、またひとつお兄さん、お姉さんになった子どもたち。その自覚の表れでしょうね。今朝の登校時の元気なあいさつや新任式、始業式での話を聞く態度など、ほんとすばらしかったですね。

さて、新しい1年の始まりとなる7日(木)の始業の日、1校時に新任式と始業式を行いました。今年度新しくこの三小に赴任された、馬原巧平先生、林田朋子先生、支援室の小倉廉先生、給食調理の甲斐志乃先生(当日欠席)の4名を紹介した後、お一人ずつ子どもたちに話をさせていただきました。先生方は、話を聞くときの子どもたちの真剣な眼差しに、思いを新たにされたのではないのでしょうか。その後には、4月から新しく三小の仲間に加わるお友達2人がみんなの前で自己紹介。津隈凱斗さん(3年)、馬原敬巧さん(4年)の2名と、来週入学してくる1年生11名をあわせ、56名の子どもたちと14名の教職員とでスタートします！



まはらこうへい はやしたともこ
おぐられん かいしのぶ
つぐまかいと まはらけいた

元気な子どもたちに負けじと芽吹き始めた若葉のように、生き生きと、そして一日一日を大切にしながらがんばって欲しいと思います！

始業式、子どもたちにこんな話をしました！！

新しい学年のスタートに当たり、子どもたちに2つのことを話しました。 <ぶんめい><こうぶく>

【その1】「目標」「めあて」をしっかり立てて、「努力」「継続」していきましょう！

今日が新しい学年のスタートです。新しい学年になって、自分自身どんなことを頑張るか、新しい学級担任の先生と一緒にどんな学級を作っていくか、しっかり計画を立てて、今日からしっかり実行努力し、ずっと継続して取り組んで欲しいと思います。このことが、自分の成長、学級のまとまりにつながっていきます。

【その2】「自分」のことだけでなく、「周りの人」「周りの方々」のことを大切に
人になりましょう！！

3, 4年生、5, 6年生は、昨年度までと違って、「複式学級」といって、2つの学年が1つの学級となります。教科によっては、1つの教室で、違う内容を学習することもあります。もし、自分勝手に発言をしたり学習の約束を守らなかったりすると、周りのお友だちの勉強の邪魔になることもあります。ですから、授業中はもちろんですが、いっしょに活動したり生活したりする時には、自分のことだけでなく、周りの人のことをしっかり考えた行動してほしいと思います。また、みなさんのまわりには、おともだち、先生方、おうちの方、地域の方など、たくさんの人たちがいます。また、町内の鞍岡小、坂本小、上組小のおともだちともいっしょに学習する「G授業」もあります。そんな多くの人たちと、気持ちよく過ごすために、まずは、「あいさつ」からしっかりがんばりましょう。そして、周りの人たちに、「感謝」の気持ちをもって接しましょう。



新キャラクター

写真：満開となった体育館裏の枝垂れ桜。ピンクの可憐な花が大きな幹から伸びる枝いっぱい咲き誇っています。

